

# 環境経営レポート

2022 年度

(対象期間: 2022 年12月1日～ 2023 年11月30日)



株式会社 郡資

発行日: 2024年1月20日

## 作業状況



収集運搬車輛



フォークリフトでの運搬作業



コンテナの脱着作業



産廃コンテナ保管作業



フォークリフトによる積込作業

## 目 次

項 目	ページ
あいさつ・環境経営方針	1
組織の概要、許可の内容	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
受託した廃棄物の処理量、環境経営中期目標	4
環境経営目標	5
環境経営計画	6
環境経営目標の実績	7
環境経営目標の評価	8
環境経営計画の実績・評価	9
緊急事態の想定・対応・訓練結果	10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無 代表者による全体の評価と見直し・指示	11
次年度の環境経営目標、環境経営計画	12

当社は、創業以来、産業廃棄物・資源リサイクルの収集運搬事業に深く関わる中で、大量の廃棄物を生み出す社会構造に対し常に問題意識を持ち、事業活動を通して持続型資源循環社会の構築を目指し取り組んでまいりました。

これからもエコアクション21による環境経営への取り組みを通して環境負荷のさらなる低減に努め社会、お客様のニーズに応えていくとともに、地球環境及び地域社会の環境保全のために積極的に役割を果たしてまいります。

# 環境経営方針

## 環境経営理念

株式会社郡資は、産業廃棄物収集運搬事業をとおして地球温暖化問題への取り組みや地域の環境課題の解決に向けた活動に自主的・積極的に取り組みます。環境負荷を継続的に改善して環境の保全に努めるとともに、受託した産業廃棄物を適正に処理・リサイクルすることにより、美しい地球環境を未来へ繋いでいきます。

関連法規を遵守し事業活動のあらゆる分野で、従業員一丸となって環境に配慮した行動に努め継続的に改善活動に取り組んでまいります。

## 環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制等を遵守します。
2. 省資源・省エネによるCO2排出量の削減、環境負荷の最小化を推進し使用する電力および水の使用量を削減します。
3. 収集運搬車両のエコドライブを実践し、省エネと排ガスの抑制に取り組みます。
4. 自社の廃棄物の削減や受託廃棄物の再資源化に努めます。
5. 全社員が環境経営システムへの理解を深め、かつ、行動します。
6. 地域社会における環境保全活動に積極的に参画し、社会貢献活動を推進します。

制定日：2021年 12月 1日



株式会社 郡 資  
代表取締役 影山 敏宏

## □組織の概要

更新日：2023年12月1日

### (1) 名称及び代表者名

株式会社 郡資  
代表取締役社長 影山敏宏

### (2) 所在地

本社 福島県郡山市田村町金屋字川久保102-1  
作業所 福島県郡山市石塚111

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 環境衛生管理部長 長尾利一 TEL：024-944-8201  
担当者 環境衛生管理事務局 有馬正好 TEL：024-941-5699

### (4) 事業活動の内容

産業廃棄物収集運搬業務、一般廃棄物収集運搬業務  
資源リサイクル収集業

### (5) 事業の規模

法人設立 昭和15年4月 創業 (81年)  
資本金 1,000 万円  
売上高 7,718 万円

	本社	構内作業所
従業員	2名	8名
延べ床面積	169㎡	50㎡

### 保有車輛

車種	台数	備考
11tアームロールダンプ	1台	積載量 6t
20tウイング車	1台	積載量 13t
8t平ボディー	1台	積載量 4t
4t平ボディー	1台	積載量 2t
合計	4台	

## □許可の内容

### 一般廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	許可種類
郡山市	第36号	令和4年4月1日	令和6年3月31日	一般廃棄物(ごみ) (積み替え保管なし)

### 産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類										
					汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	金属くず	動植物性残さ	鉱さい
福島県	第007020476528号	令和4年6月28日	令和9年3月21日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

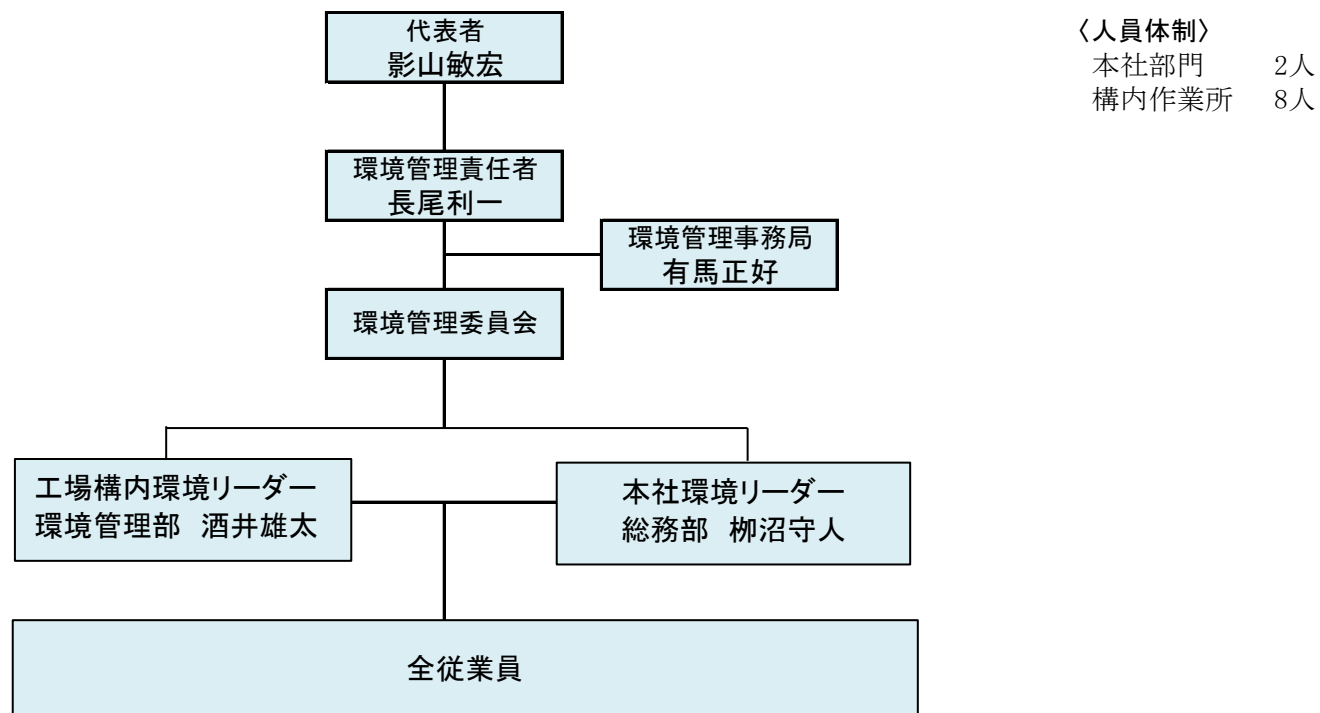
## □認証・登録の対象組織

登録組織名：株式会社郡資  
対象事業所：本社  
パナソニック郡山工場構内作業所

## □事業の紹介

当社は、昭和45年松下電工株式会社、郡山工場開設以来の協力会社として、プリント基板材料である胴張り積層板及びプリプレグの外形加工を担当するなど順調に業務を伸長させてまいりました。現在は、同工場内より排出される産業廃棄物及び一般廃棄物の

## □環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営環境に関する統括責任。</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者等を準備。</li> <li>・経営環境方針を定め、社員に周知する。</li> <li>・環境管理責任者を任命する。</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施する。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理を行う。</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者及び環境管理委員会へ報告する。</li> </ul>
環境管理推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者を委員長とし、環境管理責任者が招集する。</li> <li>・環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を環境リーダーは各部門で実施する。</li> <li>・内部監査の代わりとして、計画の進捗状況・ガイドラインへの適合状況を審議し、不適合や不具合がある場合は、代表者、環境リーダーに是正を勧告する。</li> </ul>
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐。</li> <li>・環境関連外部コミュニケーションの窓口。</li> <li>・環境経営目標・計画書案の作成環境活動レポートの作成、公開、事務所への備付と地域事務局への送付。</li> <li>・取組みデータの集計、取りまとめ及び文書記録類の管理。</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版の管理。</li> </ul>
環境リーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当部門について環境経営システムを実施し維持する。</li> <li>・省資源、省エネ、節水の奨励・実施確認及び是正措置。</li> <li>・従業員に対する教育訓練の実施。</li> <li>・環境経営目標達成に向けた取組の実施。</li> <li>・環境関連法規等遵守の取組。</li> <li>・緊急事態対応試行訓練の実施・記録。</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。</li> <li>・決定事項を守り、自主的かつ積極的に環境活動へ参加する。</li> </ul>

受託した産業廃棄物の収集運搬量・・・(2022年12月～2023年11月までの期間)

再生資源の種類	単位	回収・収集運搬量
廃プラスチック	t	1,539.4
紙くず	t	336.9
ガラスくず等	t	0.53
金属くず	t	207.8
鉱さい	t	25.4
汚泥	t	482.2

受託した一般廃棄物の収集運搬量・・・(2022年12月～2023年11月までの期間)

再生資源の種類	単位	回収・収集運搬量
その他：事業系一般可燃ごみ(焼却ごみ)	kg	201.6
その他：事業系一般資源ごみ(雑誌・新聞・パット紙等)	kg	112.7

□環境経営目標(中期目標)

項目	単位	基準年度実績値	2021年度			2022年度			2023年度		
		2020年12月1日～ 2021年11月30日	削減率	削減量	目標値	削減率	削減量	目標値	削減率	削減量	目標値
収集運搬量	t	2,940.2	-	-	2,940.2	-	-	2,940.2	-	-	2,940.2
二酸化炭素排出量削減 kg-CO2	kg-CO2	39,396	1%	394.0	39,002	2%	787.9	38,608	3%	1,182	38,214
	kg-CO2/t 原単位	13.40	1%	0.13	13.26	2%	0.27	13.13	3%	0.40	13.00
電力消費量の削減 kWh kWh-CO2	kWh	3,689	1%	36.89	3,653	2%	73.79	3,616	3%	110.68	3,579
	kWh-CO2	1,926	1%	19.26	1,907	2%	38.52	1,887	3%	57.78	1,868
	kg-CO2/t 原単位	0.655	1%	0.01	0.65	2%	0.01	0.64	3%	0.02	0.64
LPG使用量の削減 m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> -CO2	m <sup>3</sup>	257.38	1%	2.57	254.81	2%	5.15	252.24	3%	7.72	249.66
	m <sup>3</sup> -CO2	772.2	1%	7.72	764.43	2%	15.44	756.71	3%	23.16	748.99
	kg-CO2/t 原単位	0.263	1%	0.003	0.260	2%	0.01	0.26	3%	0.01	0.25
軽油使用量の削減 ℓ ℓ-CO2	ℓ	11,537	1%	115.37	11,422	2%	230.74	11,306	3%	346.11	11,191
	ℓ-CO2	30,227	1%	302.27	29,925	2%	604.54	29,623	3%	906.81	29,320
	kg-CO2/t 原単位	10.281	1%	0.10	10.178	2%	0.21	10.07	3%	0.31	9.97
ガソリン使用量の削減 ℓ ℓ-CO2	ℓ	2,787	1%	27.87	2,759	2%	55.74	2,731	3%	83.60	2,703
	ℓ-CO2	6,471	1%	64.71	6,406	2%	129.42	6,342	3%	194.13	6,277
	kg-CO2/t 原単位	2.201	1%	0.022	2.179	2%	0.04	2.16	3%	0.07	2.13
一般廃棄物排出量削減 kg・kg/t (自社)	kg	65.4	1%	0.65	64.7	2%	1.31	64.1	3%	1.96	63.4
	kg/t 原単位	0.0222	1%	0.0002	0.022	2%	0.0004	0.022	3%	0.0007	0.022
水資源使用量の削減 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	114.7	1%	1.15	113.5	2%	2.29	112.40	3%	3.44	111.2
	m <sup>3</sup> /t 原単位	0.039	1%	0.00	0.039	2%	0.00	0.038	3%	0.00	0.038
受託産業廃棄物収集運搬時 のCO2排出量の削減 kg-CO2・CO2/t	kg-CO2	※排出量 30,227	1%	302.27	※排出量 29,925	2%	604.54	※排出量 29,623	3%	906.81	※排出量 29,320
	kg-CO2/t 原単位	※排出量 10.28	1%	0.10	※排出量 10.18	2%	0.21	※排出量 10.07	3%	0.31	※排出量 9.97
グリーン購入の促進 ecoマーク商品の購入	品目	0品目			2品目以上			2品目以上			2品目以上
地域貢献・環境保全 活動の実施	実施回数	0回			2回			2回			2回

- 削減率は実績値、達成率は目標値、達成率評価は基準値ベースでの評価となります。但し、受託産業廃棄物収集運搬車CO2排出削減量は目標値に対しての評価となります。
- 収集運搬量の目標値は基準年の運搬量を暫定値として定めています。
- 原単位目標値は基準年の運搬量/tを基に暫定で定めています。
- 基準年ベースでの総量比較と収集運搬量基準のCO2排出原単位比較を併記しています。
- 購入電力の排出係数は、東北電力による2021年度環境省・経済産業省提出の調整後排出係数0.522(kg-CO2/kWh)を使用しています。
- CO2の排出量は、電力、LPG、自動車燃料の使用実績値の合計です。
- 構内作業所の方は請負先の負担となるため環境負荷数値には含めておりません。
- 電気・水道・ガスは本町事務所の数値となります。
- PRTR制度対象の化学物質の取り扱いは無く目標は策定しておりません。

※指標基準原単位評価計算式  

$$\text{運搬量基準項目指数} = \frac{\text{排出・使用量}(\text{kg} \cdot \ell \cdot \text{kWh} \cdot \text{m}^3/\text{年})}{\text{廃棄物収集運搬量}(\text{t}/\text{年})}$$

□環境経営計画・経営目標(単年度)

〈環境経営計画〉

(基準年からの2年目の運用期間)

〈環境経営目標〉

項目	単位	計画取組項目	担当部門	担当者	2020年12月1日～ 2021年11月30日	2022年度		2022年12月1日～ 2023年11月30日まで
					基準年度実績値	削減率	削減量	目標値
二酸化炭素排出量削減 kg-CO2	kg-CO2	電力、LPG、自動車燃料の使用量の削減を図り基準年度実績値から年1%削減する。	全社	酒井	39,396	2%	787.9	38,608
	kg-CO2/t 原単位				13.40	2%	0.27	13.13
電力消費量の削減 kWh kWh-CO2	kWh	空調、照明等使用時の節電により基準年度実績値から年1%削減する。	総務部	柳沼	3,689	2%	73.79	3,616
	kWh-CO2				1,926	2%	38.52	1,887
	kg-CO2/t 原単位				0.655	2%	0.01	0.64
LPG使用量の削減 m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> -CO2	m <sup>3</sup>	給湯使用時の適温温度の調整により基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼	257.4	2%	5.15	252.24
	m <sup>3</sup> -CO2				772.2	2%	15.44	756.71
	kg-CO2/t 原単位				0.263	2%	0.01	0.257
軽油使用量の削減 ℓ ℓ-CO2	ℓ	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	環境衛生管理部	酒井	11,537	2%	230.74	11,306
	ℓ-CO2				30,227	2%	604.54	29,623
	kg-CO2/t 原単位				10.281	2%	0.21	10.075
ガソリン使用量の削減 ℓ ℓ-CO2	ℓ	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	環境衛生管理部	酒井	2,787	2%	55.74	2,731
	ℓ-CO2				6,471	2%	129.42	6,342
	kg-CO2/t 原単位				2.201	2%	0.04	2.157
一般廃棄物排出量削減 kg・kg/t (自社)	kg	OA紙の使用削減による基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼	65.4	2%	1.31	64.1
	kg/t 原単位				0.022	2%	0.0004	0.022
水資源使用量の削減 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	節水による基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼	114.7	2%	2.29	112.4
	m <sup>3</sup> /t 原単位				0.039	2%	0.001	0.038
受託産業廃棄物収集運搬時のCO2排出量の削減 kg-CO2・CO2/t	kg-CO2	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	環境衛生管理部	酒井	※排出量 30,227	2%	604.54	※排出量 29,623
	kg-CO2/t 原単位				※排出量 10.28	2%	0.21	※排出量 10.07
グリーン購入の促進 ecoマーク商品の購入	購入品目	エコマーク商品の優先購入	総務部	柳沼	0品目			2品目以上
地域貢献・環境保全活動の実施	実施回数	環境教育の実施、作業所周辺の道路、側溝等の清掃活動	環境衛生管理部	EA21事務局	0回			2回

- ・削減率は実績値、達成率は目標値、達成率評価は基準値ベースでの評価となります。但し、受託産業廃棄物収集運搬車CO2排出削減量は目標値に対する評価となります。
- ・収集運搬量の目標値は基準年の運搬量を暫定値として定めています。
- ・原単位目標値は基準年の運搬量/tを基に暫定で定めています。
- ・基準年ベースでの総量比較と収集運搬量基準のCO2排出原単位比較を併記しています。
- ・購入電力の排出係数は、東北電力による2021年度環境省・経済産業省提出の調整後排出係数0.522(kg-CO2/kWh)を使用しています。
- ・CO2の排出量は、電力、LPG、自動車燃料の使用実績値の合計です。
- ・構内作業所の方は請負先の負担となるため環境負荷数値には含めておりません。
- ・電気・水道・ガスは本町事務所の数値となります。
- ・PRTR制度対象の化学物質の取り扱いは無く目標は策定しておりません。

※指標基準原単位評価計算式

$$\text{運搬量基準項目指数} = \frac{\text{排出・使用量 (kg・ℓ・kWh・m}^3\text{/年)}}{\text{廃棄物収集運搬量 (t/年)}}$$



□環境経営目標の実績・達成度

(運用期間 2022年12月1日～2023年11月30日まで)

項目	単位	基準年度実績値	2022年度目標値			2022年度実績値			達成率	達成度
		2020年12月1日～ 2021年11月30日	削減率	削減量	目標値	削減率	削減量	実績数値		
収集運搬量	t	2,940.2	-	-	2,940.2	-	-	2,906.5	-	-
二酸化炭素排出量削減 kg-CO2	kg-CO2	39,396	2%	787.92	38,608	14.0%	5,410	33,198	116.3	◎
	kg-CO2/t 原単位	13.40	2%	0.27	13.13	13.0%	1.71	11.42	115.0	◎
電力消費量の削減 kWh kWh-CO2	kWh	3,689	2%	73.79	3,616	-16.2%	-586	4,202	86.1	△
	kWh-CO2	1,926	2%	38.52	1,887	-16.2%	-306	2,193	86.1	△
	kg-CO2/t 原単位	0.66	2%	0.013	0.64	-17.6%	-0.11	0.75	85.1	△
LPG使用量の削減 m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> -CO2	m <sup>3</sup>	257.4	2%	5.148	252.2	-2.1%	-5.40	257.6	97.9	○
	m <sup>3</sup> -CO2	772.2	2%	15.443	756.7	-2.1%	-16.20	772.9	97.9	○
	kg-CO2/t 原単位	0.26	2%	0.0053	0.26	-3.3%	-0.009	0.27	96.8	○
軽油使用量の削減 ℓ ℓ-CO2	ℓ	11,537	2%	230.74	11,306	12.9%	1,455	9,851	114.8	◎
	ℓ-CO2	30,227	2%	604.54	29,623	12.9%	3,813	25,810	114.8	◎
	kg-CO2/t 原単位	10.28	2%	0.206	10.07	11.9%	1.19	8.88	113.5	◎
ガソリン使用量の削減 ℓ ℓ-CO2	ℓ	2,787	2%	55.74	2,731	30.3%	827	1,904	143.4	◎
	ℓ-CO2	6,471	2%	129.42	6,342	30.3%	1,920	4,422	143.4	◎
	kg-CO2/t 原単位	2.20	2%	0.044	2.16	29.5%	0.68	1.52	141.8	◎
一般廃棄物排出量削減 kg・kg/t (自社)	kg	65.4	2%	1.308	64.1	-8.7%	-5.58	69.7	92.0	○
	kg/t 原単位	0.022	2%	0.0004	0.022	-10.0%	-0.002	0.024	90.9	○
水資源使用量の削減 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	114.7	2%	2.3	112.4	-1.4%	-1.57	114.0	98.6	○
	m <sup>3</sup> /t 原単位	0.039	2%	0.001	0.038	-2.6%	-0.001	0.039	97.5	○
受託産業廃棄物収集運搬時 のCO2排出量の削減 kg-CO2・CO2/t	kg-CO2	※排出量 30,227	2%	604.5	※排出量 29,623	12.9%	3,812.5	※排出量 25,810	114.8	◎
	kg-CO2/t 原単位	※排出量 10.28	2%	0.21	※排出量 10.07	11.9%	1.19	※排出量 8.88	113.5	◎
グリーン購入の促進 ecoマーク商品の購入	品目	0品目			2品目以上			2品目	-	○
地域貢献・環境保全 活動の実施	実施回数	0回			2回			2回	-	○

- ・削減率は実績値、達成率は目標値、達成率評価は基準値ベースでの評価となります。但し、受託産業廃棄物収集運搬車CO2排出削減量は目標値に対する評価となります
- ・収集運搬量の目標値は基準年の運搬量を暫定値として定めています。
- ・原単位目標値は基準年の運搬量/tを基に暫定で定めています。
- ・基準年ベースでの総量比較と収集運搬量基準のCO2排出原単位比較を併記しています。
- ・購入電力の排出係数は、東北電力による2021年度環境省・経済産業省提出の調整後排出係数0.522(kg-CO2/kWh)を使用しています。
- ・CO2の排出量は、電力、LPG、自動車燃料の使用実績値の合計です。
- ・構内作業所の方は請負先の負担となるため環境負荷数値には含めておりません。
- ・電気・水道・ガスは本町事務所の数値となります。
- ・PRTR制度対象の化学物質の取り扱いは無く目標は策定しておりません。

※指標基準原単位評価計算式  

$$\text{運搬量基準項目指数} = \frac{\text{排出・使用量}(\text{kg} \cdot \ell \cdot \text{kWh} \cdot \text{m}^3 / \text{年})}{\text{廃棄物収集運搬量}(\text{t} / \text{年})}$$

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

□評価

1. 二酸化炭素排出量削減

CO2の排出は、収集運搬量を基準とした原単位指数で13%の削減率で1.71Pの減少。達成率は115%と目標を上回ることができた。今期はエコドライブの意識も浸透し自動車燃料からのCO2削減を図ることが出来た。電力とLPG部門でさらなる省エネ対応の強化を図ってきたい。

2. 電力消費量の削減

電力使用量は下期改善したが削減率は▲16.2%の586kWh増。目標に対し86.1%に止まった。コロナ禍の中での空調使用の難しさもあり消費量の削減には至らなかったが、少しずつ省エネの取組み効果が発揮され効果が表われてきていると思われる。今後もクールビズやウォームビズにより効果的に取組み、使用量の削減を図ってきたい。

3. LPG使用量の削減

LPGの使用量は給湯器の使用時間を配慮するなど削減努力を図ってきた成果が現れてきているが、目標比▲2.1%削減率で586kWhの増加となった。達成率は97.9%ともう少しで達成できるところまでできており、今後も継続して取組むこととしたい。

#### 4. 軽油使用量の削減

軽油は原単位指数で目標比11.9%削減。達成率は113.5%と上回ることが出来た。  
収集運搬の効率化を進め今後もエコ運転を実践していく方針。

#### 5. ガソリン使用量の削減

ガソリンは原単位指数目標比29.5%の削減。達成率は141.8%と上回った。  
今後もエコドライブを実践していきたい。

#### 6. 一般廃棄物排出量削減

事務系一般廃棄物は、削減までには至らなかったものの目標比8.7%の増加に抑制。目標に対し92%にまで改善。ペーパーレスFAX機能付コピー機能の本格運用となるが、紙ベースとの併用もまだ残ってしまい削減に至らなかった。社内文書の裏紙の利用や両面コピーの推進等を浸透させていきたい。

#### 7. 水資源使用量の削減

水道水の使用実績は114m<sup>3</sup>で削減率▲1.4%、達成率は98.6%の結果であった。次年度は使用の際は水量を弱くするなどし、トイレの使用時も節水に注意して水を使用するなどより一層周知図っていききたい。

#### 8. 受託産業廃棄物収集運搬車のエコドライブによるCO2排出量の削減

収集運搬車のCO2排出量削減の状況は目標比12.9%削減。3.8t減の25.8tの実績。原単位指数は目標比11.9%削減。達成率は113.5%。  
エコドライブの徹底した効果によるものであり継続していきたい。

#### 9. グリーン購入の促進ecoマーク商品の購入

2022年度は名刺の作成にFSC認証製品を使用した。PCはグリーン購入法適合、ラベル基準は二つ星、省エネグリーンマーク達成の機種を導入。今後もグリーン購入に配慮した製品等を優先的に購入していきたい。

#### 10. 地域貢献・環境保全活動の実施

下期10/7にパナソニックインダストリー郡山工場周辺と11/4に当社周辺の清掃活動を実施した。全社員が一同に参加し周辺道路を重点的に除草及びごみを拾い環境意識の醸成を図った。

### □環境経営計画の実績・評価

(運用期間 2022年12月1日～2023年11月30日まで)

項目	単位	計画取組項目	担当部門	担当者	取組内容	実施
二酸化炭素排出量削減 kg-CO2	kg-CO2	電力、LPG、自動車燃料の使用量の削減を図り基準年度実績値から年1%削減する。	全社	酒井	・電力消費量の削減 ・LPG使用量の削減 ・エコドライブ実践による軽油・ガソリン使用量削減 ・文書の電子化	△
	kg-CO2/t 原単位					○
	kg-CO2/t 原単位					○
	kg-CO2/t 原単位					○
	kg-CO2/t 原単位					○
電力消費量の削減 kWh	kWh	空調、照明等使用時の節電により基準年度実績値から年1%削減する。	総務部	柳沼	・空調温度の適温化(夏季26～28℃、冬季20℃以下) ・不在時の部屋照明の消灯	△
	kWh-CO2					○
LPG使用量の削減 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	給湯使用時の適温温度の調整により基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼	・OA機器の省電力設定 ・休憩時間の消灯の徹底	○
	m <sup>3</sup> -CO2					○
LPG使用量の削減 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	給湯使用時の適温温度の調整により基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼	・温水温度の適正化 ・蒸気・温水配管の保温修理	○
	m <sup>3</sup> -CO2					○
軽油使用量の削減 ℓ	ℓ	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	環境衛生管理部	酒井	・エコドライブ(急発進、急加速、空ふかし排除、アイドリングSTOP)の実践 ・定期的な車輛整備点検の実施とタイヤ空気圧の適正管理	○
	ℓ-CO2					○
ガソリン使用量の削減 ℓ	ℓ	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	環境衛生管理部	酒井	・適切な収集運搬計画の立案・実施 ・走行距離と燃料供給量の記録化	○
	ℓ-CO2					○
一般廃棄物排出量削減 kg・kg/t (自社)	kg	OA紙の使用削減による基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼	・シュレッダー廃紙のリサイクル化 ・帳票見直しによる文書の電子化、紙印刷物の削減	○
	kg/t					○
水資源使用量の削減 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	節水による基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼	・節水シールの貼付とポスター掲示による周知、日常的な節水励行 ・水道配管からの漏水の定期的な点検	○
	m <sup>3</sup> /t					○
受託産業廃棄物収集運搬時のCO2排出量の削減 kg-CO2・CO2/t	kg-CO2	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	環境衛生管理部	酒井	・作業開始前の点検・車両整備 ・エコドライブの推進(燃料使用量は別項目) ・車両の清掃、洗車時の節水	○
	kg-CO2/t 原単位					○
グリーン購入の促進 ecoマーク商品の購入	品目	エコマーク商品の優先購入	総務部	柳沼	・事務用品のグリーン調達 ・省エネ性能の高い電気製品の購入	○
	品目					○
地域貢献・環境保全活動の実施	実施回数	環境教育の実施、作業所周辺の道路、側溝等の清掃活動	環境衛生管理部	EA21 事務局	・環境経営方針、目標、活動計画の周知と進捗状況の確認 ・EA21ガイドラインの内容、環境問題の現状、環境経営の必要性の確認 ・作業所周辺の道路、側溝等の清掃活動	○
	実施回数					○

## □環境上の緊急事態の試行及び訓練の結果

緊急事態の想定： 一般ゴミ収集コンテナにリチウムイオン電池が混入し火災が発生した。	
■実施日： 2023年9月28日	■実施場所： 郡資事務所、コンテナ置き場
■参加者： 長尾利一 酒井雄太 鈴木幸司 菅野真秀 添田克則 渡辺晃次 鈴木春江 植田日出男	■実施内容： 消火訓練
手順書EA-11-1の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
■評価： 消化作業訓練では、消火器の車輛への搭載含め場所・使用期限の確認、リチウムイオン電池の特性を参加者全員が理解し意識を高めることが出来た。	
■想定した緊急事態	
1 事業系一般廃棄物の収集中、一般ゴミにリチウムイオン電池の取り忘れによる廃棄物の火災発生	
■対応策	
1 通行の妨げや燃え移る心配のない場所に移動し後方車輛に注意し停車する。	
2 発火箇所の確認、車輛に装備されている消火器を使用し消火を行い、鎮火を確認する。	
3 会社に連絡しその後の指示により行動する。	
4 消火できない場合は、消防119番と警察110番に通報、まわりの人や物に被害がないように配慮する。 特に通行車輛に注意喚起しつつ消防車輛を待つようにする。 消防車到着後は、消防の指示に従い現場処理にあたる。	
■対応策の改定及び周知	
1 回収に伺う事業所にリチウムイオン電池の混入防止を啓発する。	
2 従業員のリチウムイオン電池に対する教育を行う。	
3 消火器の定期的な点検を継続していく。	
■訓練結果	
1 発火時における消化作業訓練で、消火器の場所と使用期限を確認して周知させることができた。	
2 積荷の飛散は、移動中にゲートを閉めて飛散防止ができた。	
3 リチウムイオン電池の特性は理解した。各事業所への啓発活動は継続していく。	
4 今後も交通災害防止訓練を継続して行う。	

## □訓練状況



実火災消火活動(映像資料)



想定状況説明



消火器使用訓練



消火器使用訓練



消火器使用訓練

実施日： 2024年1月25日

## 1. 環境経営方針

評価 産業廃棄物収集運搬事業をととしてE A 21のプランに基づきCO2の削減を目指し環境課題の解決に向けた取組みを実践することが出来ました。関連法規を遵守し環境に配慮つつ事業活動を行い、環境保全の6つの行動指針に則して従業員一丸となって取組むことが出来ました。

改善指示 今後も取組みを継続します。

## 2. 環境経営目標、活動計画、実施状況

評価 CO2の排出は収集運搬量基準原単位指数で目標に対し削減率11.8%ので1.71Pの減少。達成率は115%と目標を上回りました。今期はエコドライブの意識も浸透し、自動車燃料部門でCO2削減を進めることが出来まし電力使用量は目標に対し86.1%、LPG使用量は目標に対し97.9%とそれぞれ改善してきており今後も節電、適温、節水に努め継続して取組んでまいります。

改善指示 環境活動に対するさらなる意識の向上を図り現在の取組みを継続します。

## 3. 環境経営システムと実施体制 (Plan Do Check)

評価 環境経営システムを導入後、役割・権限・責任を明確にし具体的にPlan Do Checkを実践することによって効果が表われてきているものと評価しております。

改善指示 現在の体制を継続します。

## 4. 全体評価

当社は産業廃棄物の収集運搬を通じ環境への負荷の低減に積極的に取組み、その意思を地域社会やステークホルダーに対し明確に示すことが大切であると考えE A 21に取組んでまいりました。

取組み期間2年が経過し、すべての従業員がこれまで以上にエコドライブや節水、節電等への意識が高まり環境活動に対する理解も定着してきたように思われます。

CO2の排出削減目標は全体を通して達成することが出来、電気とLPG使用量の部門も目標には若干及ばなかったものの概ね改善されてきております。今後も当初定めた行動計画を継続して取組み循環型社会の実現に向け環境経営活動をより一層推進していく方針です。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直すこと
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

## □次年度の環境経営計画と環境経営目標

### [ 環境経営計画 ]

(基準年から3年目の運用年間)

### [ 環境経営目標 ]

項目	単位	計画取組項目	担当部門	担当者	基準年度実績値	2023年度		
					2020年12月1日～ 2021年11月30日	削減率	削減量	2023年12月1日～ 2024年11月30日まで 目標値
収集運搬量	t	-			2,940.2	-	-	2,940.2
二酸化炭素排出量削減 kg-CO2	kg-CO2	電力、LPG、自動車燃料の使用量の削減を図り基準年度実績値から年1%削減する。	全社	酒井	39,396	3%	1,182	38,214
	kg-CO2/t 原単位				13.40	3%	0.40	13.00
電力消費量の削減 kWh kWh-CO2	kWh	空調、照明等使用時の節電により基準年度実績値から年1%削減する。	総務部	柳沼	3,689	3%	110.68	3,579
	kWh-CO2				1,926	3%	57.78	1,868
	kg-CO2/t 原単位				0.655	3%	0.02	0.64
LPG使用量の削減 m <sup>3</sup> m <sup>3</sup> -CO2	m <sup>3</sup>	給湯使用時の適温温度の調整により基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼	257.38	3%	7.72	250
	m <sup>3</sup> -CO2				772.15	3%	23.16	749
	kg-CO2/t 原単位				0.263	3%	0.008	0.25
軽油使用量の削減 ℓ ℓ-CO2	ℓ	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	環境衛生管理部	酒井	11,537	3%	346.11	11,191
	ℓ-CO2				30,227	3%	906.8	29,320
	kg-CO2/t 原単位				10.281	3%	0.31	9.97
ガソリン使用量の削減 ℓ ℓ-CO2	ℓ	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	環境衛生管理部	酒井	2,787	3%	83.60	2,703
	ℓ-CO2				6,471	3%	194.1	6,277
	kg-CO2/t 原単位				2.201	3%	0.07	2.13
一般廃棄物排出量削減 kg・kg/t (自社)	kg	OA紙の使用削減による基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼	65.4	3%	1.96	63
	kg/t 原単位				0.0222	3%	0.0007	0.02
水資源使用量の削減 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	節水による基準年度実績値から年1%削減	総務部	柳沼	114.7	3%	3.44	111
	m <sup>3</sup> /t 原単位				0.039	3%	0.001	0.04
受託産業廃棄物収集運搬時のCO2排出量の削減 kg-CO2・CO2/t	kg-CO2	エコドライブを実践し基準年度実績値から年1%削減	環境衛生管理部	酒井	※排出量 30,227	3%	906.81	※排出量 29,320
	kg-CO2/t 原単位				※排出量 10.28	3%	0.31	※排出量 9.97
グリーン購入の促進 ecoマーク商品の購入	品目	エコマーク商品の優先購入	総務部	柳沼	0品目			2品目以上
地域貢献・環境保全活動の実施	実施回数	環境教育の実施、作業所周辺の道路、側溝等の清掃活動	環境衛生管理部	EA21事務局	0回			2回

- ・削減率は実績値、達成率は目標値、達成率評価は基準値ベースでの評価となります。但し、受託産業廃棄物収集運搬車CO2排出削減量は目標値に対する評価となります。
- ・収集運搬量の目標値は基準年の運搬量を暫定値として定めています。
- ・原単位目標値は基準年の運搬量/tを基に暫定で定めています。
- ・基準年ベースでの総量比較と収集運搬量基準のCO2排出原単位比較を併記しています。
- ・購入電力の排出係数は、東北電力による2021年度環境省・経済産業省提出の調整後排出係数0.522(kg-CO2/kWh)を使用しています。
- ・CO2の排出量は、電力、LPG、自動車燃料の使用実績値の合計です。
- ・構内作業所の分は請負先の負担となるため環境負荷数値には含めておりません。
- ・電気・水道・ガスは本町事務所の数値となります。
- ・PRTR制度対象の化学物質の取り扱いは無く目標は策定しておりません。

※指標基準原単位評価計算式

$$\text{運搬量基準項目指数} = \frac{\text{排出・使用量 (kg・ℓ・kWh・m}^3\text{/年)}}{\text{廃棄物収集運搬量 (t/年)}}$$